

平成30年度 学校自己評価

全教科 生徒に対する授業アンケート【全教科集計】%

(1)集計結果(7月と12月のデータ比較)

A(ほとんどそうだ)B(だいたいそうだ)C(あまりそうではない)D(ほとんどそうではない)

質問項目	A		B		C		D	
	7月	12月	7月	12月	7月	12月	7月	12月
①先生の説明・問いかけ・指示・板書がわかりやすい授業だ。	72%	77%	23%	20%	4%	2%	1%	1%
②授業の内容や授業で使う教材は、よく準備されている授業だ。	78%	83%	18%	15%	3%	2%	0%	0%
③1時間のねらいや学習の進め方が、はっきりとめられている授業だ。	78%	81%	18%	16%	3%	3%	1%	0%
④仲間の意見を聞いたり話し合ったりする場面があり、生徒の発言や反応が授業の進め方に生かされている授業だ。	71%	75%	22%	20%	6%	4%	2%	1%
⑤前の授業の復習をしたり、今日の授業で学習したことをまとめたり、ふり返りをする時間が比較的ある授業だ。	67%	71%	27%	25%	5%	4%	1%	0%
⑥学習がきちんとできるようにルールやマナーが守られている授業だ	78%	80%	18%	17%	3%	3%	1%	0%
⑦提出ノートや学習カード、宿題などの内容や量は適当だと思う。	70%	79%	19%	17%	3%	3%	1%	1%
⑧先生は、提出ノートや学習カード、宿題の点検や評価などの中で、アドバイスしてくれたり、認めてくれたりしてくれる。	61%	70%	24%	24%	6%	5%	3%	1%

(2)全体的な考察

*⑦, ⑧については、技能教科など、提出ノートや宿題を課していない教科もあり、回答していない学級や学年があるため、他の項目と同等に比較・評価できるものではない。

- ・全ての項目において、(A+B)の肯定的な評価が90%を超えており、概ね高い評価を得ている。
- ・質問①, ②では、A評価が7月より12月の方が5%上がっており、質問④, ⑤でも4%上がっている。
- ・特に④の「仲間とのかかわり」については、友とのかかわりを通して互いの考えを練り合い(思考)、共感したり違いに気づいたりして(判断)自己表現につなげていく(表現)ということ、全校研究でも大切にしている。また、⑤の「ふり返り」は、友と考えを共有し、個の学びをふり返りながら定着に結びつけていくための時間として、この数年間全校研究で重点課題として考えられてきていることでもある。全職員が全校研究テーマを据えながら意識して授業に取り組んでいる結果でもあると捉えられるのではないかと。
- ・⑦, ⑧については、職員アンケート「宿題の点検・アドバイス」自己評価が他の項目に対し低めであったことから、職員が意識して提出ノートの点検や家庭学習の内容について扱うようになってきていると捉えられる。保護者アンケートからも、家庭学習や学力の底上げについての項目が高かったため、今後更に具体的な指導と家庭学習の方法、授業改善が求められるところである。